INFORMATION

No.2025.10
2025年5月

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、新たな検査項目の受託開始について、下記のとおりご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。

謹白

記

■受託開始日　　２０２５ 年 ６ 月 ９ 日（月）ご依頼分より

■新規実施項目　　マイコプラズマジェニタリウム核酸およびマクロライド耐性変異同時検出

検査項目一覧掲載頁	項目コード	検査項目 JLAC10	検体量（mL）	容器	保存（安定性）	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値	備　考
未掲載	5561	マイコプラズマジェニタリウム核酸およびマクロライド耐性変異同時検出 6B617-0000-050-862 6B671-0000-001-862	分泌物	⑳滅菌スピッツ	凍結（22日）	4~6	① 350 微生物 150	PCR（リアルタイムPCR）	検出せず	重 他項目との重複依頼は避けてください。 分泌物：子宮頸管周辺の過剰な粘液を綿棒等で取り除いた後、滅菌スワブを子宮頸管内に挿入し、同じ方向に複数回まわして採取してください。スワブは滅菌スピッツに入れ凍結保存してください。スワブの指定はありませんが、ブレイクポイント（折り目）のあるスワブをお勧めいたします。 部分尿：最後の排尿から少なくとも１時間以上経過後の初尿を採取してください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。　※1
	5564		部分尿 0.7 mL		凍結（7日）					

①　保険点数の算定条件につきましては、次頁をご参照ください。

一般社団法人　**福岡市医師会臨床検査センター**
〒814-0001　福岡市早良区百道浜1丁目6番9号　TEL(092)852-1506　FAX(092)852-1511

●マイコプラズマジェニタリウム核酸およびマクロライド耐性変異同時検出

性感染症における診断補助および適切な抗菌薬の選択に有用な検査です。

マイコプラズマジェニタリウム（Ｍｙｃｏｐｌａｓｍａ ｇｅｎｉｔａｌｉｕｍ：MG）感染症は、男性では尿道炎、女性では子宮頸管炎を引き起こす性感染症の１つです。

マイコプラズマジェニタリウムは、薬剤耐性化が世界的に問題となっており、日本においても第一選択であるマクロライド系抗菌薬に対し、５０％以上が耐性化しているとの報告があります。多剤耐性例も確認されるなど難治例が増加していることから、薬剤耐性、特にマクロライド耐性を確認するための検査が重要になると考えられています。

本検査は、検体から抽出したＤＮＡを用いて、マイコプラズマジェニタリウムＤＮＡとマクロライド耐性関連変異である２３Ｓ ｒＲＮＡドメインＶ領域の主要な変異を同時に検出いたします。マイコプラズマジェニタリウムのマクロライド耐性を早期に把握することで、適切な抗菌薬を選択できるようになることが期待されています。

▼疾患との関連

性感染症
尿道炎
子宮頸管炎

▼関連する主な検査項目

淋菌およびクラミジアトラコマチスＤＮＡ同時同定
淋菌ＤＮＡ、クラミジアトラコマティスＤＮＡ
膣トリコモナスおよびマイコプラズマジェニタリウ

▼ 検査要項

検査項目名	マイコプラズマジェニタリウム核酸およびマクロライド耐性変異同時検出	
項目コード 報告書名称	親 5561：MG核酸DR変異DNA 子 5562：ﾏｲｺﾌﾟﾗｽﾞﾏｼﾞｪﾆﾀﾘｳﾑDNA 子 5563：23S rRNA遺伝子変異	親 5564：MG核酸DR変異DNA（尿） 子 5565：ﾏｲｺﾌﾟﾗｽﾞﾏｼﾞｪﾆﾀﾘｳﾑDNA 子 5566：23S rRNA遺伝子変異
検体量	分泌物	部分尿　０．７ｍＬ
容器	⑳滅菌スピッツ	
保存方法	凍結保存してください	
所要日数	４～６日	
検査方法	ＰＣＲ（リアルタイムＰＣＲ）	
基準値（単位）	検出せず　　（なし）	
報告範囲	検出せず、陽性（＋）、判定不能	
報告桁数	設定なし	
検査実施料	３５０点 ①　（「Ｄ０２３」微生物核酸同定・定量検査「１２」）	
判断料	１５０点（微生物学的検査判断料）	
備考欄	重 他項目との重複依頼は避けてください。 分泌物：子宮頸管周辺の過剰な粘液を綿棒等で取り除いた後、滅菌スワブを子宮頸管内に挿入し、同じ方向に複数回まわして採取してください。スワブは滅菌スピッツに入れ凍結保存してください。スワブの指定はありませんが、ブレイクポイント（折り目）のあるスワブをお勧めいたします。 部分尿：最後の排尿から少なくとも１時間以上経過後の初尿を採取してください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。	
検査実施施設（記号）	エスアールエルセントラルラボラトリー（※１）	

①保険点数の算定条件

「マイコプラズマ・ジェニタリウム核酸及びマクロライド耐性変異同時検出」は、以下のいずれかに該当する場合であって、リアルタイムＰＣＲ法により測定した場合に算定する。

ア　マイコプラズマ・ジェニタリウム感染症を疑う患者に対して、治療法の選択を目的として行った場合。

イ　マイコプラズマ・ジェニタリウム感染症の患者に対して、治療効果判定を目的として行った場合。